

新旧対照表

旧			新		
第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針			第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針		
1 施設類型区分			1 施設類型区分		
施設類型		分類	施設類型		分類
(1)	集会施設	公民館、各地区の集会所、研修会館等	(1)	集会施設	公民館、各地区の集会所、研修会館等
(2)	博物館等	民俗資料収蔵庫、 伝統文化等保存伝習施設（樹里庵）	(2)	博物館等	民俗資料収蔵庫、 伝統文化等保存伝習施設（樹里庵）
(3)	スポーツ施設	勤労者体育センター、フィットネス クラブ、総合運動場等	(3)	スポーツ施設	勤労者体育センター、フィットネス クラブ、総合運動場等
(4)	レクリエーション施設・観光施設	ジュピアランドひらた 道の駅ひらた	(4)	レクリエーション施設・観光施設	ジュピアランドひらた 道の駅ひらた
(5)	学校	小学校、中学校	(5)	学校	小学校、中学校
(6)	その他教育施設	学校給食センター	(6)	その他教育施設	学校給食センター
(7)	幼稚園・保育所・こども園	蓬田こども園、小平こども園	(7)	幼稚園・保育所・こども園	蓬田こども園、小平こども園
(8)	高齢福祉施設	小平老人福祉センター	(8)	高齢福祉施設	小平老人福祉センター
(9)	保健施設	保健センター	(9)	保健施設	保健センター
(10)	その他社会福祉施設	地域福祉センター	(10)	その他社会福祉施設	地域福祉センター
(11)	庁舎等	役場施設	(11)	庁舎等	役場施設
(12)	その他行政施設	旧役場施設等	(12)	その他行政施設	旧役場施設等
(13)	公営住宅	村営住宅	(13)	公営住宅	村営住宅
(14)	その他	葉たばこ育苗センター、乾草供給セ	(14)	その他	葉たばこ育苗センター、乾草供給セ

		ンター、教職員住宅、中学校校長住宅等
(15)	公営企業の公共施設	簡易水道施設、浄化センター施設
(16)	道路	村道
(17)	橋梁	橋梁
(18)	上水道	上水道施設
(19)	下水道	下水道施設
(20)	その他（インフラ）	公園等

		ンター、教職員住宅、中学校校長住宅等
(15)	公営企業の公共施設	簡易水道施設、浄化センター施設
(16)	道路	村道
(17)	橋梁	橋梁
(18)	上水道	上水道施設
(19)	下水道	下水道施設
(20)	その他（インフラ）	公園等

※（7）幼稚園・保育所・こども園の蓬田こども園と小平こども園を統合し、令和2年度にひらたこども園を開所

※（1）集会施設のおだいら交流館を令和4年度に開所

※（1）集会施設の公民館、（3）スポーツ施設のフィットネスクラブ、（9）保健施設の保健センターの機能を有する複合施設として、保健生涯学習施設を令和5年度に開所

2 施設類型の現状・課題及び基本方針

（1）集会施設

①施設の現状・課題

集会施設は各地区に14施設あり、村民活動の拠点となっている施設です。

昭和50年代後半から昭和60年代に建築したものなど、老朽化が進んでいる施設もあります。利用者は少なく、利用者とフルコストの関係では、全施設で利用者に比してフルコストが高くなっています。また、中央公民館は、防災拠点施設として位置付けられていますが、昭和54年に整備された施設で、築30年以上経過しており、耐震化が未整備で老朽化が

2 施設類型の現状・課題及び基本方針

（1）集会施設

①施設の現状・課題

集会施設は各地区に15施設あり、村民活動の拠点となっている施設です。

昭和50年代後半から昭和60年代に建築したものなど、老朽化が進んでいる施設もあります。利用者は少なく、利用者とフルコストの関係では、全施設で利用者に比してフルコストが高くなっています。また、耐震化が未整備で老朽化が進んでいた中央公民館は、同じく老朽化が進んでいた保健センターとフィットネスクラブとの複合化を行い、保健生涯学習施設として開所しました。

進んでおります。

一部の施設は、指定管理者制度を行っています。

今後の更新を検討するにあたっては、地域特性と利用度を検討しながら、精査していく必要がある状況となっています。

(2) 略

(3) スポーツ施設

①施設の現状・課題

体育館 1 施設、運動場 3 施設、野球場 1 施設、テニスコート 1 施設、屋内ゲートボール場 1 施設、フィットネスクラブ 1 施設を設置しており、野球場やゲートボール場など専門性の高いスポーツの拠点になっている施設もあります。

フィットネスクラブについては、昭和 40 年に整備された施設で築 50 年以上を経過しており、老朽化が進んでいます。

体育館については、昭和 55 年に整備された施設で築 30 年以上を経過しており、耐震化が未整備で、老朽化が進んでいます。

屋内ゲートボール場については、平成 6 年に整備された施設ですが、利用度は少なく今後のあり方を考えていく必要があります。

②基本方針

体育館や屋内ゲートボール場及びフィットネスクラブなど地域の住民が利用する施設については、利用状況などを考慮して今後の更新を検討していきます。特に利用度の少ない施設については、見直しを検討していきます。

運動場や野球場にある公衆トイレや管理棟も利用状況などを考慮して今後の更新を検討していきます。

(4) 略

(5) 略

(6) 略

(7) 幼稚園・保育所・こども園

一部の施設は、指定管理者制度を行っています。

今後の更新を検討するにあたっては、地域特性と利用度を検討しながら、精査していく必要がある状況となっています。

(2) 略

(3) スポーツ施設

①施設の現状・課題

体育館 1 施設、運動場 2 施設、野球場 1 施設、テニスコート 1 施設、屋内ゲートボール場 1 施設、フィットネスクラブ 1 施設を設置しており、野球場やゲートボール場など専門性の高いスポーツの拠点になっている施設もあります。

フィットネスクラブについては、老朽化が進んでいたため、中央公民館と保健センターとの複合化を行い、保健生涯学習施設内に設置されています。

体育館については、昭和 55 年に整備された施設で築 30 年以上を経過しており_____、老朽化が進んでいます。

屋内ゲートボール場については、平成 6 年に整備された施設ですが、利用度は少なく今後のあり方を考えていく必要があります。

②基本方針

体育館や屋内ゲートボール場_____など地域の住民が利用する施設については、利用状況などを考慮して今後の更新を検討していきます。特に利用度の少ない施設については、見直しを検討していきます。

運動場や野球場にある公衆トイレや管理棟も利用状況などを考慮して今後の更新を検討していきます。

(4) 略

(5) 略

(6) 略

(7) 幼稚園・保育所・こども園

①施設の現状・課題

当村では、昭和 60 年から小平幼稚園・保育所で、昭和 61 年から蓬田幼稚園・保育所で幼保一体化による運営をしてきましたが、「子ども・子育て支援制度」が施行されたことに伴い、平成 27 年度からそれぞれの幼児施設を統合して、認定こども園として蓬田こども園と小平こども園を設置し、よりきめ細やかで質の高い教育と保育の一体的な実施に努めています。

どちらのこども園も昭和 46 年度建設で築 40 年以上経過した施設であり、耐震面・老朽化などの大きな課題に直面しており、少子化による児童数の減少も考慮しながら、施設の更新・運営方法の検討が必要な状況となっています。

②基本方針

こども園は、幼児・児童が日常的に使用する施設であることも考慮し、安心・安全確保について検討します。また、建物の耐震性・老朽化などを考慮し、児童数の減少などを踏まえて統合化・複合化についても検討します。

(8) 略

(9) 保健施設

①施設の現状・課題

保健施設は、永田地区に保健センターを設置しています。

保健センターは、村民に対する健康相談、保健指導、栄養指導や各種健診等、村民の健康増進に関して必要な事業を行っています。

施設が整備されて約 30 年になるため、耐震面・老朽化などの課題についても検討が必要になっています

また、今後、法的な動向を見ながら、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」や地域包括ケアの中核となる「地域包括ケアセンター」の機能の一部を持ちながら事業の連携を図っていく必要があります。

①施設の現状・課題

当村では、昭和 60 年から小平幼稚園・保育所、昭和 61 年から蓬田幼稚園・保育所で幼保一体化による運営をしてきましたが、「子ども・子育て支援制度」が施行されたことに伴い、平成 27 年度からそれぞれの幼児施設を統合して、認定こども園として蓬田こども園と小平こども園を設置しました。

しかし、どちらのこども園も昭和 46 年度建設で築 40 年以上経過した施設であり、耐震面や老朽化、少子化による児童数の減少などの課題に直面していたため、蓬田こども園と小平こども園を統合して、令和 2 年度にひらたこども園として設置し、よりきめ細やかで質の高い教育と保育の一体的な実施に努めています。

②基本方針

こども園は、幼児・児童が日常的に使用する施設であることも考慮し、安心・安全確保について検討します。

(8) 略

(9) 保健施設

①施設の現状・課題

保健センターは、村民に対する健康相談、保健指導、栄養指導や各種健診等、村民の健康増進に関して必要な事業を行ってしましたが、施設が整備されて約 30 年になり、耐震面・老朽化などの課題に直面したため、中央公民館とフィットネスクラブとの複合化を行い、保健生涯学習施設内に設置されています。

また、今後、法的な動向を見ながら、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」や地域包括ケアの中核となる「地域包括ケアセンター」の機能の一部を持ちながら事業の連携を図っていく必要があります。

②基本方針

当村では、平成25年に策定した「第2次健康ひらた21」の計画に沿って、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す健康づくりを促進させ、また、生涯にわたる子育て支援や高齢者支援、地域包括ケアの確立等を関係機関と協力しながら地域医療、保健福祉体制の充実を図りながら、機能を維持・管理していきます。

(10) 略

(11) 略

(12) その他行政施設

①施設の現状・課題

その他行政施設は、永田地区に旧平田村役場（庁舎・議場棟・別棟・車庫等）と旧永田小学校校長住宅の2施設、9棟があります。

旧庁舎・旧議場棟・旧別棟・旧校長住宅は整備されてから30年以上経過しており、耐震面・老朽化の課題があります。現在、役場庁舎は移転し 、旧校長住宅も空家となっており、周囲の環境、治安に影響を与えないように取壊しも含め、今後の活用方法を検討する必要があります。

車庫、倉庫等については機能を維持・管理していく必要があります。

②基本方針

旧庁舎・旧議場棟・旧別棟・旧校長住宅は、耐震面・老朽化などを考慮し、施設の安全面を確保しながら再利用等を検討します。

車庫、倉庫等は、長寿命化を図るために、維持・管理を効率的に行っていきます。

(13) 公営住宅

①施設の現状・課題

公営住宅は、村内に15施設、59棟あり、既に耐用年数を迎えた施設も多くあります。今後老朽化が進んでいくなか、建替え更新の

②基本方針

当村では、平成25年に策定した「第2次健康ひらた21」の計画に沿って、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す健康づくりを促進させ、また、生涯にわたる子育て支援や高齢者支援、地域包括ケアの確立等を関係機関と協力しながら地域医療、保健福祉体制の充実を図りながら、機能を維持・管理していきます。

(10) 略

(11) 略

(12) その他行政施設

①施設の現状・課題

その他行政施設は、永田地区に旧平田村役場（ 別棟・車庫・倉庫） があります。

 旧別棟 は整備されてから30年以上経過しており、耐震面・老朽化の課題があります。現在、役場庁舎は移転しているため、 周囲の環境、治安に影響を与えないように取壊しも含め、今後の活用方法を検討する必要があります。

車庫、倉庫 については機能を維持・管理していく必要があります。

②基本方針

 旧別棟 は、耐震面・老朽化などを考慮し、施設の安全面を確保しながら再利用等を検討します。

車庫、倉庫 は、長寿命化を図るために、維持・管理を効率的に行っていきます。

(13) 公営住宅

①施設の現状・課題

公営住宅は、村内に13施設、52棟あり、既に耐用年数を迎えた施設も多くあります。今後老朽化が進んでいくなか、建替え更新の

負担も踏まえ検討が必要です。

また、戸建ての公営住宅も多いことから、日々の維持・管理の観点も踏まえ、更新にあたっては、比較的大規模な施設に集約するなどの対策が必要な状況となっています。

②基本方針

公営住宅は、村民が日常を過ごす施設であるため、耐用年数を過ぎた施設は安全確保のために早急な検討が必要です。また、耐用年数を迎えていない施設も同様に検討が必要です。人口減少の見通しも踏まえ、老朽化した施設の更新を慎重に検討し、集約化を図るなどの総量の最適化の検討を進めていきます。

(14) 略

(15) 略

(16) 略

(17) 橋梁

①施設の現状・課題

当村は、橋梁を 78 橋有しており、今後老朽化が進む見通しであり、更新に伴う負担は重くなることが見込まれるため、平成 24 年 1 月に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき保全計画に取り組んでいく必要があります。

②基本方針

橋梁については、5 年に 1 回の頻度で近接目視点検を行い、橋梁の健全性を評価し、緊急性や重要性を考慮し、財政状況を踏まえながら、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき保全計画を策定し、橋梁の長寿命化を図り道路利用者の安心・安全確保等に努めていきます。

(18) 略

(19) 略

(20) 略

負担も踏まえ検討が必要です。

また、戸建ての公営住宅も多いことから、日々の維持・管理の観点も踏まえ、更新にあたっては、比較的大規模な施設に集約するなどの対策が必要な状況となっています。

②基本方針

公営住宅は、村民が日常を過ごす施設であるため、耐用年数を過ぎた施設は安全確保のために早急な検討が必要です。また、耐用年数を迎えていない施設も同様に検討が必要です。人口減少の見通しも踏まえ、老朽化した施設の更新を慎重に検討し、集約化を図るなどの総量の最適化の検討を進めていきます。

(14) 略

(15) 略

(16) 略

(17) 橋梁

①施設の現状・課題

当村は、橋梁を 72 橋有しており、今後老朽化が進む見通しであり、更新に伴う負担は重くなることが見込まれるため、平成 24 年 1 月に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき保全計画に取り組んでいく必要があります。

②基本方針

橋梁については、5 年に 1 回の頻度で近接目視点検を行い、橋梁の健全性を評価し、緊急性や重要性を考慮し、財政状況を踏まえながら、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき保全計画を策定し、橋梁の長寿命化を図り道路利用者の安心・安全確保等に努めていきます。

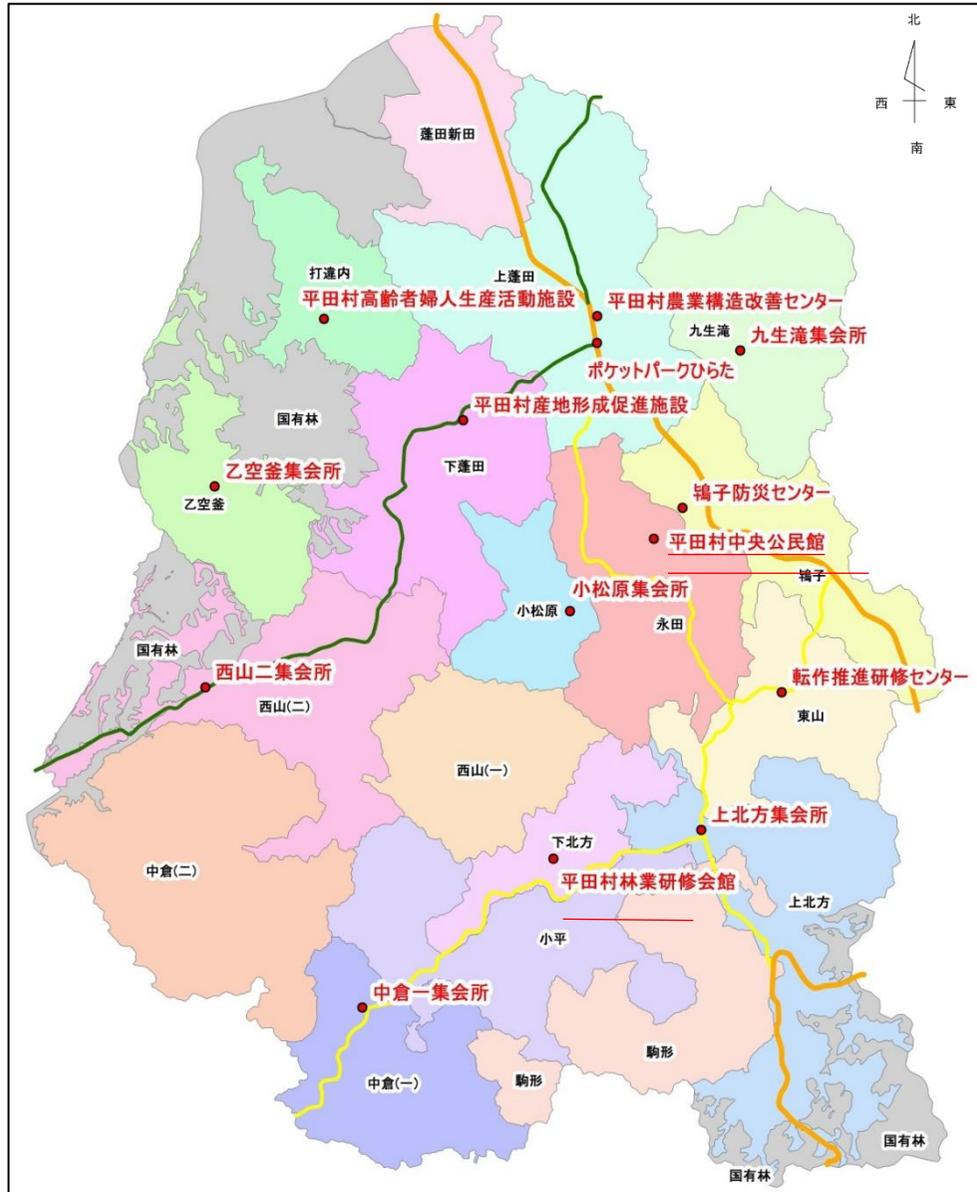
(18) 略

(19) 略

(20) 略

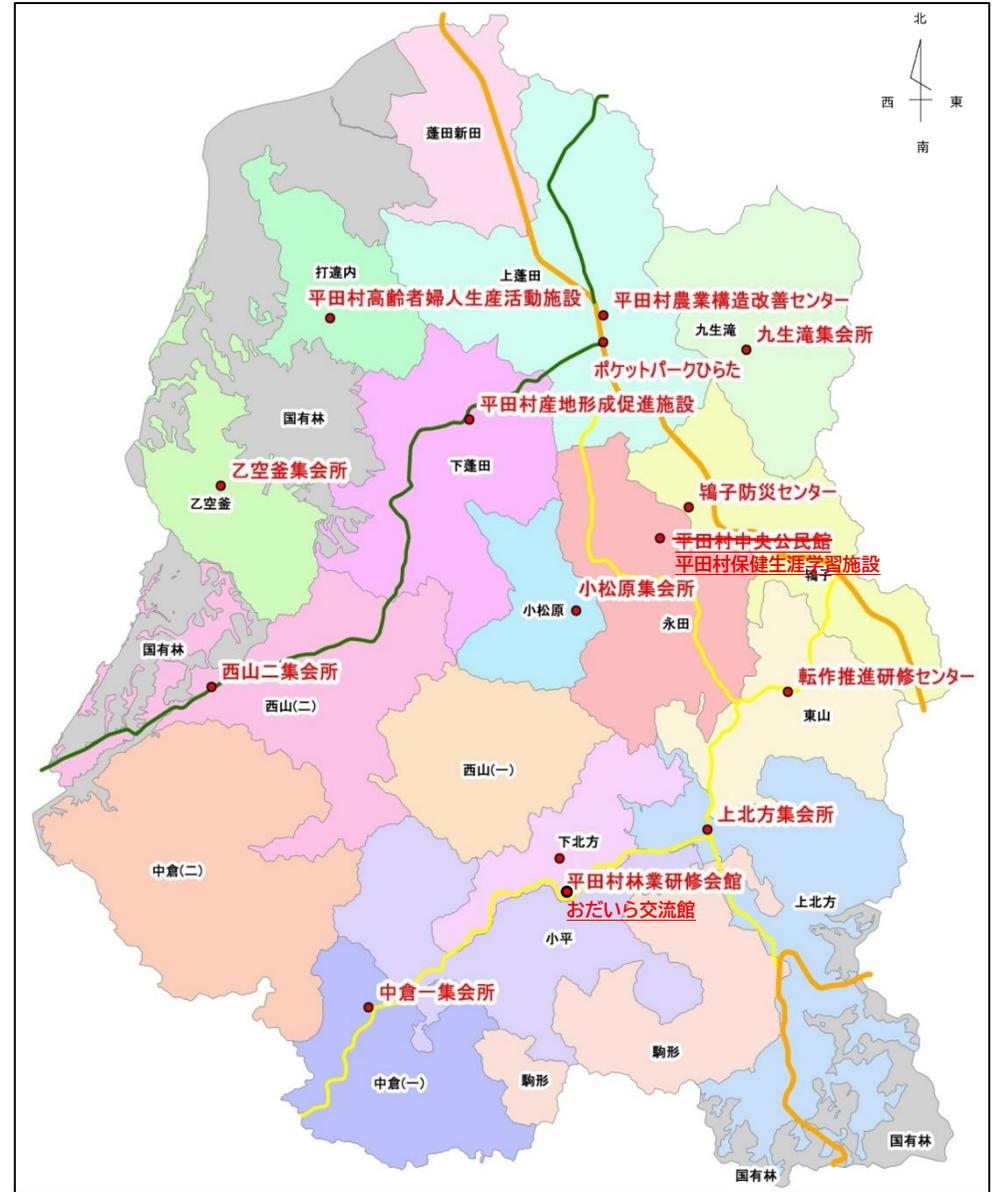
3 施設類型配置図

(1) 集会施設

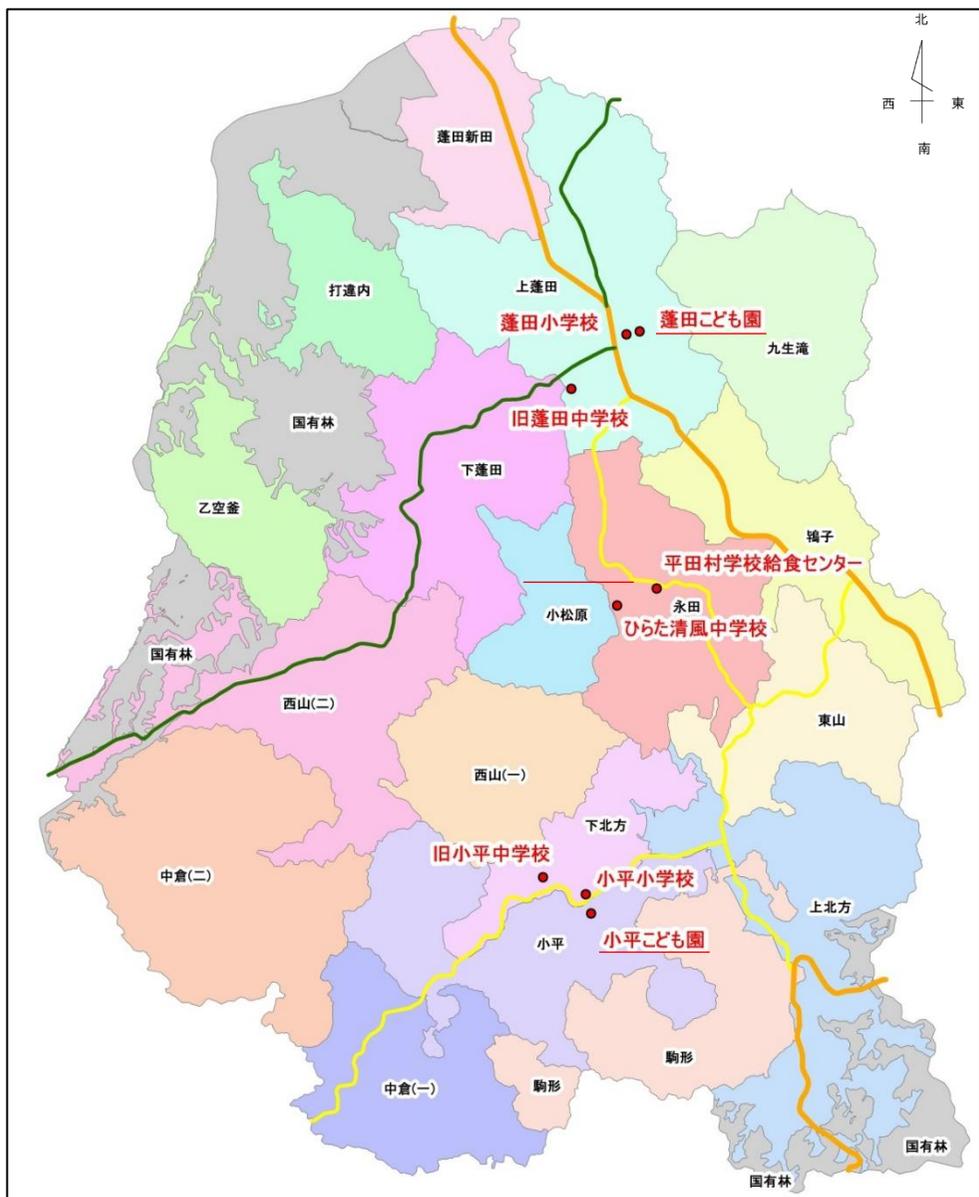


3 施設類型配置図

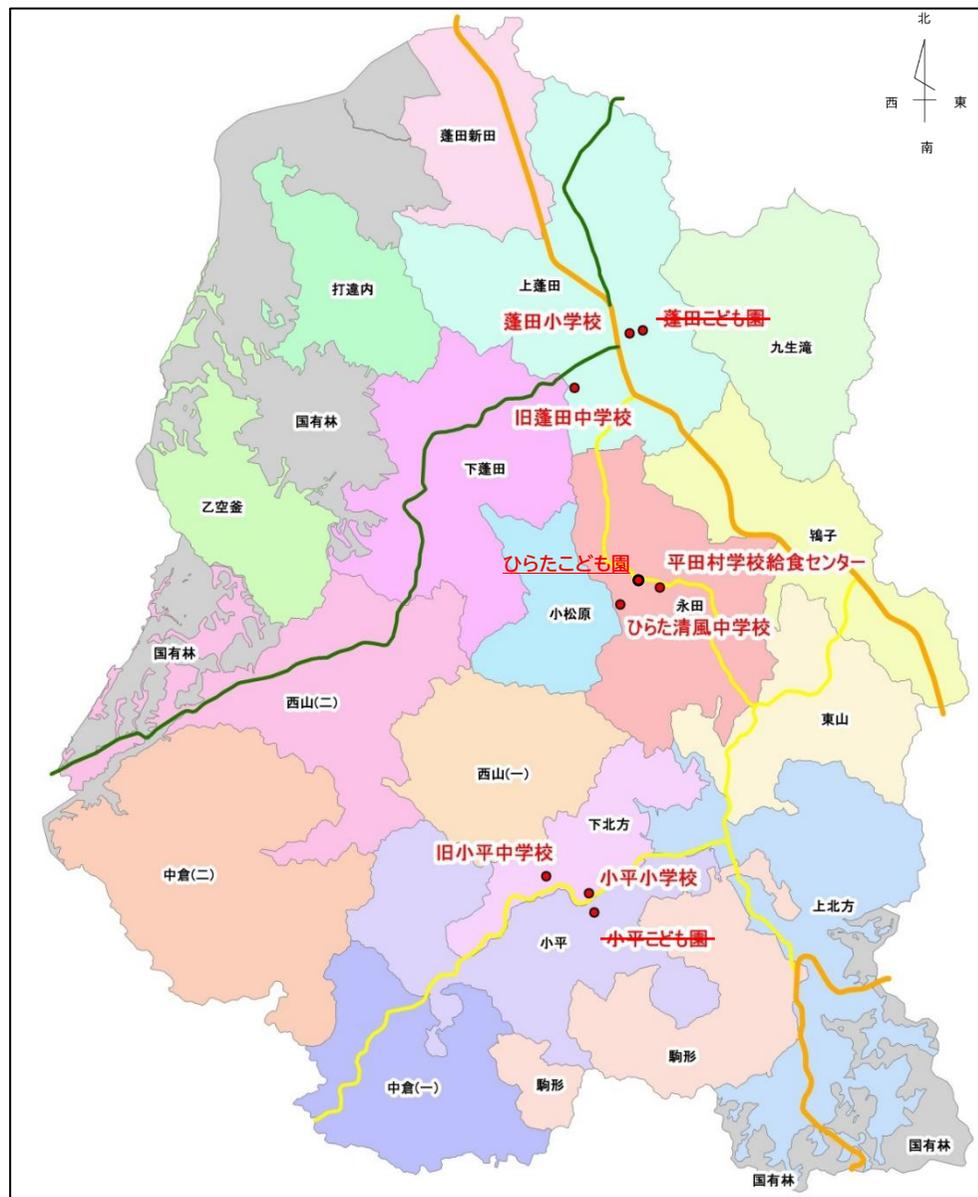
(1) 集会施設



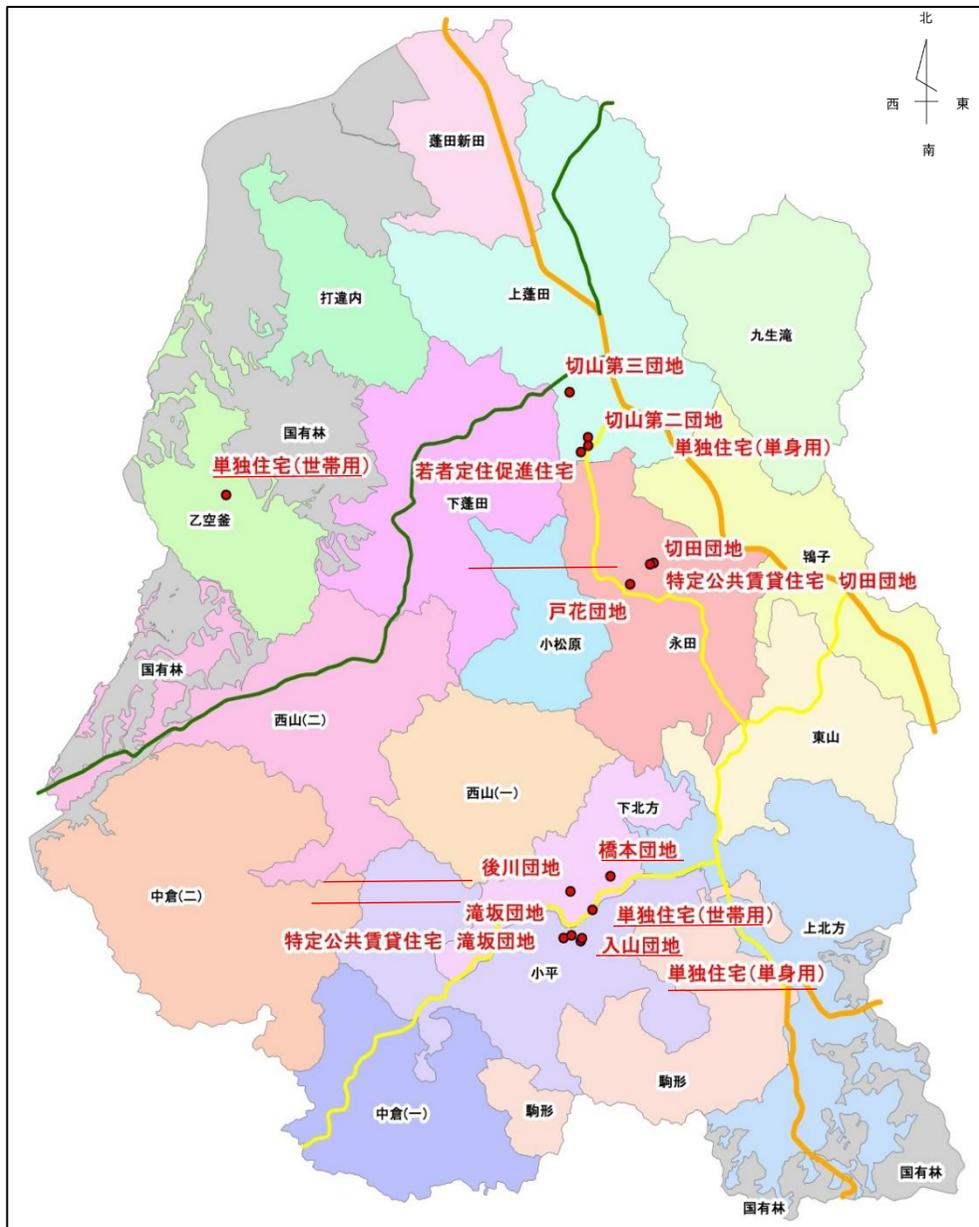
(2) 学校、その他教育施設、幼稚園・保育所・こども園



(2) 学校、その他教育施設、幼稚園・保育所・こども園



(3) 公営住宅



(3) 公営住宅

